

# リテール・事業法人カンパニー

個人

中小企業

中堅企業

## Retail & Business Banking Company

お客さまの想いや希望、成長の実現に向け、個人のお客さまにとってのライフデザインのパートナー、法人のお客さまの成長戦略・事業承継に係る戦略的パートナーを目指します。



リテール・事業法人カンパニー長  
**大塚 雅広**

リテール・事業法人カンパニー  
共同カンパニー長  
**福家 尚文**

### 基本方針

営業チャネルの最適化や新規事業領域の拡大を通じて、安定収益構造への転換と、個人のお客さまの想いや希望、法人のお客さまの持続的成長を実現することを基本方針とし、新たな時代のお客さまニーズに対応した持続的なりテールビジネスの構築を目指します。ビジネス・経営基盤・財務構造の三位一体で構造改革を進め

るとともに、他社アライアンス等を通じた、データ・キャッシュレス等の新たな事業領域やお客さまニーズへの対応力向上に向けた新たな経営資源への投資に重点を置くことで、非金融を含めた新たな価値を提供していきます。

### 取り巻く環境と課題認識

お客さまのニーズの構造的変化が急速に進んでいるなか、近時、生活スタイルの変化やリモート化の加速等、社会全体を取り巻く環境変化も著しく進んでいます。かかる環境下、個人のお客さまについては、人生100年時代に備えたライフデザインのサポート、中堅企業・中小企業のお客さまについては、不透明な事業環境における事業継続と支援に向けたソリューション提供等へのニーズが高まっ

ており、変化するお客さまニーズに的確に応えるとともに、オンラインコミュニケーションの加速を踏まえた取り組みを進展させていく必要があります。こうした環境変化を捉え、新たなビジネス機会を創り出すとともに、限られた経営資源の配分を見直すことを通じて、安定的な収益基盤を確立していくことが課題と認識しています。

### 業績の推移

2019年度は、市況の悪化による個人運用収益の減少等の課題を残しましたが、拠点数削減等による計画を上回る経費削減により、業務純益は、カンパニー制を導入した2016年度以降最高益と

なる165億円を達成し、構造改革初年度として確かな一歩を踏み出しました。今後も、3つの構造改革の実行を通じて、固定費の削減や、安定収益基盤の拡大を図っていきます。

(グループ合算、管理会計、概数、単位：億円)

	2018年度	2019年度		2020年度
	実績	実績	(前年比)	計画
業務粗利益	7,059	6,736	△324	6,420
業務純益	101	165	65	△30

※1. 業務粗利益、業務純益にはETF関係損益等を含む

※2. 実績は2019年度管理会計ルール、計画は2020年度管理会計ルールによる概数

## 重点戦略

### ■ コンサルティング強化

個人のお客さまには、「人生100年時代」におけるライフデザインのパートナーとして、一人ひとりの多様なゴール(目標や展望)に寄り添い、ライフステージに応じた「資産形成・運用」「資産承継」のコンサルティングを行っていきます。中堅企業・中小企業のお客さま

関連するSDGs



に対しては、不透明な事業環境における事業の維持・拡大に向けた戦略的パートナーとして、グループ一体での高度なソリューション提供を通じ、お客さまの持続的な成長や事業承継の支援に取り組みます。

### ■ 最適なチャンネルネットワークの構築

お客さまニーズの変化やリモート化の進展を踏まえ、スマートフォン等をメインチャンネルと位置づけ、利便性の高い非対面サービスを拡充いたします。一方で、店舗は「コンサルティングの場」へ転換し、

関連するSDGs



銀行・信託・証券の共同店舗化やリモート相談も活用したワンストップでのサービス提供を通じ、お客さまのさまざまな相談ニーズへの対応に取り組んでいきます。

### ■ 新たな事業領域の拡大

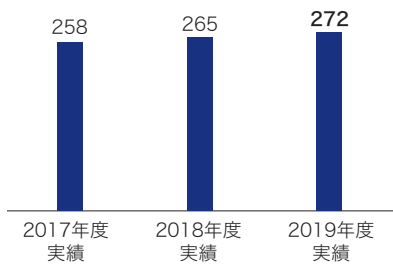
他社とのアライアンスを通じたオープンな協業や先進的なテクノロジーの活用により、オンラインレンディングやキャッシュレス決済、データビジネス等の領域で、これまでの金融の枠を超えた新たな価値を創造し、今後の社会・顧客の変化を捉えた新たなビジネスモデ

関連するSDGs

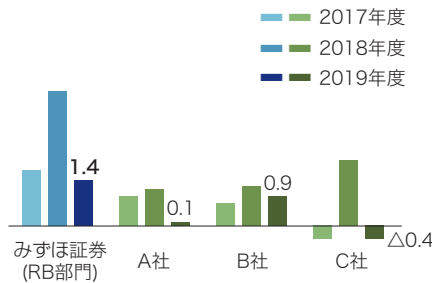


ルの創造に取り組みます。スマホを軸とした生活シーン(非金融)に紐づいたプラットフォームと〈みずほ〉の持つ金融機能を融合することにより、これまで〈みずほ〉をご利用いただけていなかったお客さまとお取引拡大にも取り組んでいきます。

### ■ 投資運用商品利用者数 (万人)

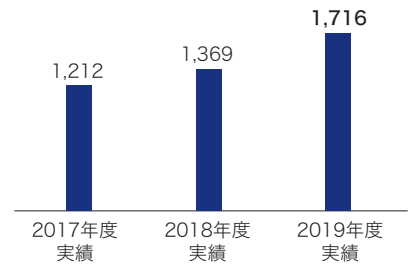


### ■ 証券各社の資産導入実績 (兆円)



※ 各社決算データをもとに作成

### ■ 事業承継対応先数 (社)



#### TOPICS 円滑な資金供給に向けた取り組み

先行き不透明な事業環境における資金調達ニーズに全力で対応するため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客さま向けに、総額1兆円を超えるファンドを設立しました。また、感染症を中心とした高度な医療技術のニーズが高まるなか、「みずほライフサイエンスファンド」(総額100億円)を設立し、先端医療の開発に取り組む企業の資本ニーズに応えています。



#### TOPICS 新たなライフスタイルに対応した次世代型金融事業への取り組み

2020年6月、〈みずほ〉とソフトバンク株式会社は、新たなライフスタイルに対応した次世代型金融事業における戦略的提携を行うことについて合意しました。本提携に基づき、まずはレンディング分野、スマホ証券分野および決済代行分野において連携強化を進め、スマホを軸とした生活シーンと金融事業を融合した次世代型金融事業を創出し、利便性の高い新たなオンラインサービスを通じて、お客さまの新たなライフスタイルの実現をサポートしていきます。

